

地域の担い、手づくり シンポジウム6

講師 — 毎日新聞論説委員
野澤和弘氏



野澤和弘氏プロフィール

静岡県出身。1983年毎日新聞社入社、津支局、中部報道部を経て1992年から東京本社社会部。厚生労働省、児童虐待取材班、障害者虐待取材班などを担当。同科学環境部副部長、社会部副部長、夕刊編集部長を経て、2009年4月から論説委員。植草学園大客員教授、NPO法人PandA-J副代表、社会保障審議会障害者部会委員を担当している。

テーマ **これからの福祉の課題と期待**

基調講演

これからの福祉の
課題と期待

「子どもの貧困問題からこのまちの福祉を考える」

開催日時

2019年 **3月17日(日)** シンポジウム | 受付 12:45 開会 13:15 閉会 16:30
懇親会 | 受付 16:30 開会 16:45 閉会 18:00

参加人数

200名

参加費無料

場所

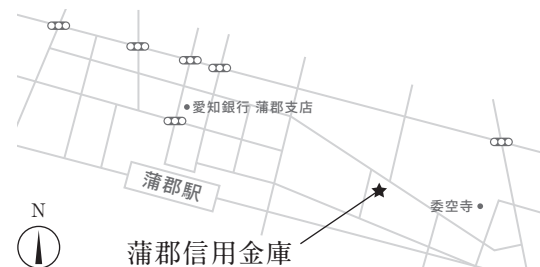
蒲郡信用金庫 本店 1F講堂(がましんコミュニティーホール)

申込方法 申込期限: 3月12日(火)

登録フォーム



氏名、所属、連絡先(電話)、メールを記載し、FAX(0533-66-3154)もしくは、
←のQRコード登録フォームからお申込ください。
問い合わせ先TEL 0533-66-3153(担当:仲川)



背景

蒲郡市における子どもの貧困率は10.5%と愛知県内でも高く対策方法を求められています。

今年度の夏休みより、福祉課による学習支援が行われ、NPO 法人楽笑による子ども食堂も開設され、子どもの貧困問題に対する環境が少しずつではあるが整い始めました。6月に社会活動家湯浅誠氏を招き「子どもの貧困」に対する学習会を行い、参加者の子どもの貧困に対する理解は大きく向上し「子ども食堂」の在り方（共生型・ケア型）、行政、NPO、市民の役割も明確になりました。

子ども食堂を開設し、地域の居場所として位置付け賑わいと繋がりが徐々に確立をし始めていますが、「子どもの貧困」というカテゴリに分類されることから、一部の方の関わりで共感が得られにくい状況になってしまっています。また、一部の方に負荷がかかっているのも否めない状況が続いています。今事業を進めるにあたり、子どもの貧困問題は一部の関係者が関わる問題なのか疑問が生じ、その問題を解決するべくシンポジウムを企画しました。

特別講演

テーマ この国の子どもたちの貧困

対策の未来について

講師 — 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付

参事官（子どもの貧困対策担当）付
参事官補佐

平田菜摘氏



平田菜摘氏プロフィール

平成24年内閣府入府。消費者庁、内閣広報室、内閣府男女共同参画局、復興庁を経て、平成30年7月から現職。

現職では、子供の貧困対策の一環として、子供の未来応援国民運動の推進に取り組む。

事業報告

テーマ 今年度の事業を振り返り、

子どもの貧困問題から

このまちの福祉を考える

助言者

助言者：野澤和弘氏 毎日新聞論説委員氏

助言者：平田菜摘氏 内閣府政策統括官付参事官補佐

報告者：小田泰久 (特)楽笑

【主催】特定非営利活動法人 楽笑

【後援】愛知県、蒲郡市、社会福祉法人蒲郡市社会福祉協議会、
蒲郡市障がい者支援センター

【助成】子供の未来応援基金



参加申込書 FAX(0533-66-3154) 申込期限: 3月12日(火)

表面QRコードからのお申込みも可能です。
※お預かりしました個人情報、本事業の連絡以外には使用しません。

参加者氏名		所属	
電話番号		アドレス	
懇親会(有料)	参加する	参加しない	